

目次

1 製品概要

2 基本的な使い方

両耳連動機能使用時

片耳の補聴器の音量を変更するともう片方の補聴器の音量も自動的に変更します。

2-4. プログラム変更

お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて最大で4つのプログラムを設定することができます。プログラム選択ボタンを押すたびにプログラムが切り替わり、お知らせ音の回数でプログラム番号をお知らせします。

販売店で設定可能

プログラム	お知らせ音	内容・使用環境
プログラム1	ボーン	
プログラム2	ボーン、ボーン	
プログラム3	ボーン、ボーン、ボーン	
プログラム4	ボーン、ボーン、ボーン、ボーン	

電源投入時の設定

販売店で設定可能

●「プログラム1」

●初期設定の音量

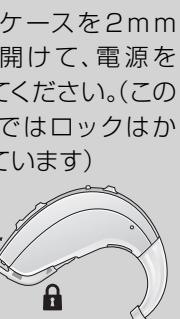
※ 電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

■チャイルドロック

乳幼児が電池ケースを開けて電池を飲み込んでしまうことを防止する機能です。設定をすると、電源を切ることはできますが電池を交換することはできません。

■解除方法

※ チャイルドロック無し仕様の補聴器にはこの機能は付いていません。



※ 電池ケースを閉めると、再度ロックされます。

※ 電池ケースを閉めたままジグを差し込むと解除に強い力が必要となり、ジグを破損する恐れがあります。必ず電池ケースを2mm程開けた状態にて解除の作業を行ってください。

△ 注意

- 専用のチャイルドロック用ジグのみを使用してください。
- 電池ケースが開くように、補聴器の横を持ってください。
- チャイルドロック用ジグを差し込む前に、電池ケースを開けて電源をオフにしてください。
- チャイルドロック用ジグは穴にまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込んだり回転させたりするとチャイルドロック用ジグの先端を傷つける恐れがあります。

チャイルドロック用ジグを紛失・破損したり、他の介護者に渡すために追加のチャイルドロック用ジグが必要なときには、お買い求めの販売店にご相談ください。

■スマートスタート機能

補聴器を耳に装用する際に不快なハウリング(ピーピー音)を防ぐ為の機能です。この機能をオンになると、電源を入れてもすぐには音声が入らず、代わりにお知らせ音(ボーン、ボーン、ボーン...)が鳴ります。

販売店で設定可能 10秒/5秒/オフ

2-2. 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなると、電子音(ボボボーン)が15分おきに繰り返し鳴り、補聴器の電源が自動的に切れます。電子音が鳴りましたら、新しい電池と交換してください。予備の電池を常に携行することをお勧めします。

販売店で設定可能 オン/オフ

■ワイヤレスアクセサリー(オプション)使用時

ワイヤレスアクセサリー使用時は、補聴器のみの使用時よりも補聴器の電池消費量が大きくなります。補聴器が使用できなくなる前に、電子音が鳴りワイヤレスアクセサリーが使えなくなります。新しい電池に交換すると、ワイヤレスアクセサリーは再び使用できます。

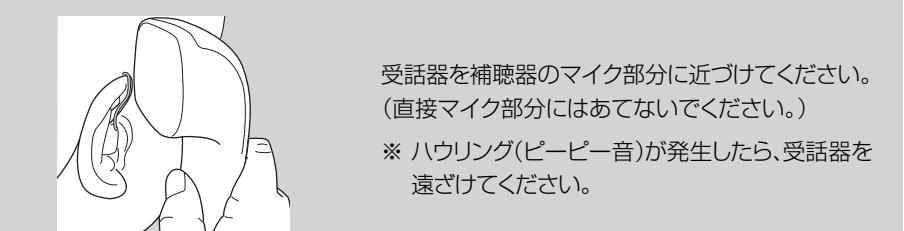
※ チャイルドロック無し仕様の補聴器にはこの機能は付いていません。

LEDライトが補聴器の使用状況をお知らせします。LEDライトの機能設定はお買い求めの販売店で行なうことができます。

プログラム開始	通常
プログラム変更	フライモード
プログラム2	プログラム3
プログラム3	プログラム4
FM/ワイヤレス アクセサリー	音量調節
音量最大/最小	電池残量低

2-5. 電話での使用

本補聴器は、装用したままでも電話を使用することができます。



受話器を補聴器のマイク部分に近づけてください。
(直接マイク部分にはあてないでください。)

* ハウリング(ピーピー音)が発生したら、受話器を遠ざけてください。

※ 本補聴器は、携帯電話からの電磁妨害に対する最も厳格な基準を守っています。しかし、すべての携帯電話と適合性があるわけではありません。もし、お持ちの携帯電話での聞き取りが悪かった場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

2-6. スマートフォンアプリとの使用

リサウンドのスマートフォンアプリとリサウンドのワイヤレス補聴器はスマートフォン経由で信号を送受信します。リサウンドのスマートフォンアプリは、リサウンドの補聴器と使用するように設計されています。

- 通知をオフにしないでください。
- アプリが正しく作動するように、アップデートを行ってください。

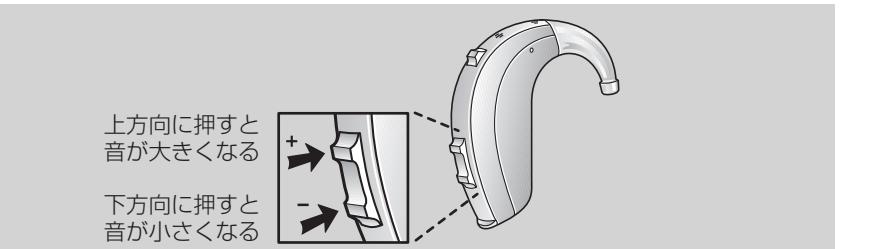
リサウンド以外の補聴器に接続してもその動作を保証するものではありません。

※ Bluetooth対応のスマートフォンをお持ちの場合は、携帯ユナイトIIを使用して通話することができます。

2-3. 音量調節

■音量調節

本補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調節することができます。



※ ボリュームコントロールを押すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ボーン」という音に変わります。

※ 電源を切ると、変更した音量は元に戻ります。

販売店で設定可能 オン/オフ

耳かけ型 UPS

リサウンド・アップスマート™

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 0120-921-310
一般のお客様電話番号 0120-921-102
FAX番号 0120-636-392
受付：月曜～金曜 午前8時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなみみらい3-6-3MMパークビル8F

認証番号 226AABZX00185000
KTG0831 UPS 02 1809H-18091K
ReSound GN

はじめに
この度はリサウンド補聴器をお買上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。

禁止 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

【禁忌・禁止】

1. 次の場合、補聴器を使用しないでください。

- 耳を治療中の場合
- 耳の中に痛みがある場合
- 先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合
- 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
- 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
- 急性または慢性のめまいがある場合
- 耳あか、または異物の集積が明らかな場合

2. 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳漏が生じたとき
- 耳の治療が必要になったとき
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき

【併用禁忌】

病院などで治療や検査を受けるときの注意

- 治療や検査が補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずさかどうかお尋ねください。
- MRIの検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。

【併用禁忌】

病院などで治療や検査を受けるときの注意

- 治療や検査が補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずさかどうかお尋ねください。
- MRIの検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。

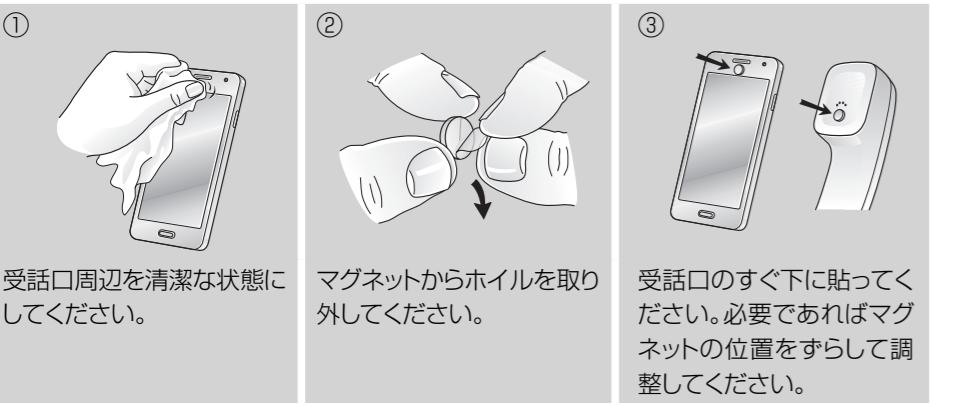
2-7. スムーズホンの使用（オプション）

スムーズホン用のマグネットを取り付けた受話器を耳にあてると、お知らせ音が鳴り、自動的に補聴器が電話モードになります。受話器を耳から離すと、自動的に元のプログラムに戻ります。必要に応じて、受話器の最適な位置をお探しください。

両耳連動機能使用時
受話器を当てていない耳の音量が下がります。

販売店で設定必要 専用プログラム

マグネットの取り付け方



△警告

- (1) スムーズホン用のマグネットは医療機器や電子装置へ影響を与える可能性があります。詳細はお使いの医療機器、電子装置の取扱説明書をご参照ください。記載がない場合は、30cm以上離してお使いいただく事を推奨します。
- (2) スムーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。
- (3) 必ずリサウンドのスムーズホン用のマグネットをご使用ください。

2-8. テレコイル

本補聴器には、テレコイルが内蔵されています。テレコイルは、教室、公共施設、家庭内などのヒアリングループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使用します。

また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でお使いいただけます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

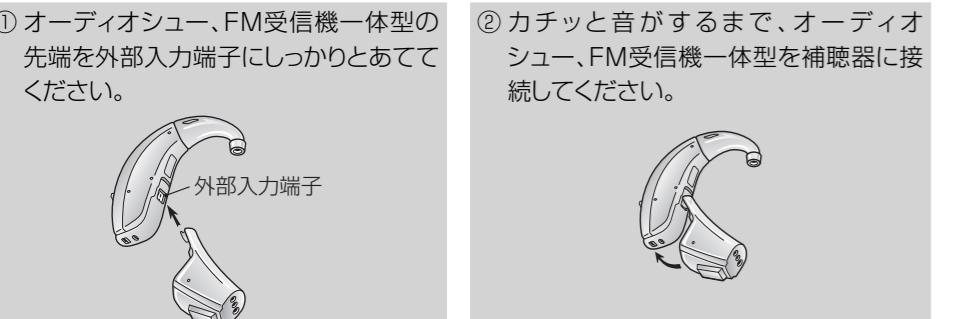
販売店で設定必要 専用プログラム

2-9. 外部入力（オプション）

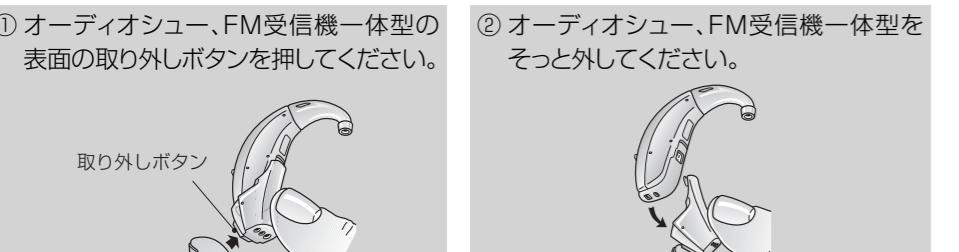
外部入力により、テレビ、ラジオなどからの音をより良い音質で直接聞くことが可能です。オーディオシュー、FM受信機一体型を補聴器に取り付け、ケーブルもしくはワイヤレスFMシステムで音源に接続すると自動的に外部入力に切り替わります。

販売店で設定必要 専用プログラム

オーディオシュー、FM受信機一体型の取り付け方（77、88タイプ）

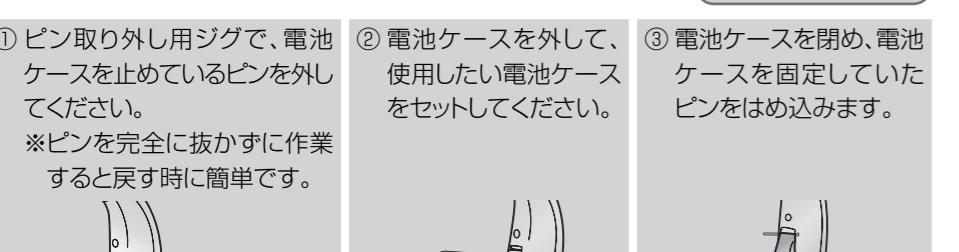


オーディオシュー、FM受信機一体型の取り外し方（77、88タイプ）



* 外部入力に接続する外部機器は、JIS規格か電気用品安全法、又は同等の安全性を備えるものをご使用ください。(例)電気用品安全法 (P) マークが表示されたものなど

電池ケースの交換方法（98タイプ）



△注意

- (1) 1つのFMチャンネルで2つ以上の送信機を使わないでください。
- (2) オーディオシュー、FM受信機一体型のお手入れに、水や液体を使用しないでください。
- (3) 電波を出すことを禁じられているエリアでは、FM送信機を使わないでください。

- (4) FM電波は、他の受信機に受信される可能性があります。
- (5) 外国でFMシステムを利用する際には、その国でそのチャンネルの使用が許可されているか事前にお問い合わせの販売店にご確認ください。
- (6) FM受信機一体型・FM送信機の修理は、認定されたサービスセンターでのみ可能です。

2-10. ワイヤレスアクセサリー

リサウンドのワイヤレスアクセサリーは、高音質のステレオ音声で補聴器へのダイレクト送信が可能です。下記のワイヤレスアクセサリーがあります。

TVユナイトII: テレビやその他のオーディオ機器からの音声を、あなたに合った音量で補聴器にダイレクト送信します。

リモコンユナイトII: 補聴器の音量調節や消音、プログラム変更などができる、すべての設定を一目で見ることができます。

携帯ユナイトII: 通話や音声を両耳の補聴器にダイレクト送信するとともに、シンプルなモコンとしても機能します。

マイクロマイク: 話し相手の胸元に身に付ければ、騒がしい環境で離れて相手の声が聞き取りやすくなる補聴器用マイクです。

マルチマイク: マイクロマイクの機能に加えて、テーブルマイクとしても機能します。FMシステム、テレコイル、ライン入力にも対応しています。

詳しく知りたい場合はお買い求めの販売店にお尋ねください。

* リサウンドのワイヤレスアクセサリーはリサウンドのワイヤレス補聴器とのみご使用ください。

* ベアリング等のより詳しい使い方はワイヤレスアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装用者ご本人や他の人の危険や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

△警告

- **お子様が触れないようご注意ください。**飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようにお願いします。
- **飛行機に搭乗する際には、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。**
- **スムーズホン用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。**マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。
- **補聴器を装用して炎症が生じたら…**この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用しているが、使用者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中心し、医師へご相談ください。
- **電波を出すことを禁じられているエリアでは、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。**
- **リサウンドの補聴器を補聴器用ワイヤレスアクセサリーと接続する際には、必ずリサウンドの補聴器用の機器（有料オプション品）をご使用ください。**
- **<使用済補聴器の処理方法>**「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の「使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン」で補聴器は特定対象品目に指定されました。ご不用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。
- **フィッティングを行う専門家の方への警告:**この補聴器は13dB SPL以上の出力があります。フィッティングの際には充分注意してください。

△注意

- **衝撃・熱を避けてください。**補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたりしないでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。
- **補聴器はいつも清潔にしておいてください。**就寝時には必ず補聴器を外してお手入れをしてください。
- **適切な音量でご使用ください。**必要以上に大きな音を長時間聴取すると、聴力低下を招く場合があります。
- **補聴器はお使いになる方のきこえ具合に合うように調整する必要があります。**この補聴器は、販売店でお使いになる方のきこえ具合に合わせて調整してもらってから装用してください。

△禁止

- **補聴器を水に濡らさないでください。**補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔などしないでください。
- **補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対にならないでください。**
- **補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。**
- **補聴器を他にお貸しにならないでください。**補聴器は使用者本人以外絶対ご使用しないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わず聞こえにくいくらいでなく、耳を痛める場合があります。

○禁止

● 病院内の検査機器にご注意ください。

MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装用をおやめください。

この補聴器の無線機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどを使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この補聴器の無線機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この補聴器の無線機能と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器の無線機能の使用場所を変えるか、または使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、弊社のカスタマーサービス（0120-921-310）までお問い合わせください。

2.4 FH 1

この補聴器の無線機能は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干涉距離は10mです。

4 電池使用上の注意

△警告

- ショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池を誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、電池を錠剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- 乾燥ケース内で補聴器を乾燥させる場合は、必ず電池を抜いてください。
- 石油ヒーターやガスヒーターなどの暖房器具から発生する二酸化炭素により電解液が劣化することがあります。電池寿命が短くなるので、火気を用いる暖房器具を使用する場合は、換気を十分に行ってください。
- 使用済みの電池は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

△注意

- +、-を逆向きに入れないでください。
- 必ず指定されたタイプの電池を使用してください。

5 故障かな?と思ったら

症 状

原 因

対 策

症 状	原 因	対 策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。 電池が消耗している。 音の出口が詰まっている。 チューブが詰まっている。 耳せんとチューブが正しく装着されていない。 装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。 設定音量が小さい。	電池ケースを閉じる。 電池を新しい物に交換する。 音の出口を掃除して詰まりをとる。 チューブを新しい物と交換する／掃除する。 注意して装着し直す。 医師に相談する。 可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
ハウリング（ビーピー音）がする	チューブがゆるんでいる。 耳せんとチューブが正しく耳に入っている。 補聴器の設定が合っていない。 耳せんの大きさが外耳道に対して合っていない。 装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	チューブを交換する。 注意して入れ直す。 販売店に相談する。 販売店に相談する。 医師に相談する。
音が不明瞭、音が歪む	電池が切れかかっている。 プログラムの設定が合っていない。	電池を新しい物に交換する。 販売店に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	ワイヤレス機能がオフになっている。 ワイヤレス機器と通信するため、デジタル符号化された低出力音送信が使われます。そのため、ワイヤレス機器を使用しているときに近くの電子機器に影響を与える可能性があります。万が一機器への影響が認められた場合は、補聴器を遠ざけてください。	ワイヤレスモードを解除する。 電池を新しい物に交換する。

* 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

6 性能表 2cmカプラ 测定規格：JIS C 5512:2015

性能表

表示単位

77タイプ（クローズ）

88タイプ（ハイパワー）

98タイプ

性能表	表示単位	77タイプ（クローズ）	88タイプ（ハイパワー）	98タイプ
90dB入力最大出力音圧レベル	HFA-OSPL90	±4dB SPL +3dB SPL以下	123	128
	HFA-FOG	±5dB	128	141
最大音響利得		+3dB以下	52	68
		+3dB SPL以下	59	72
等価入力雑音レベル		+3dB SPL以下	22	21
	500Hz	+3%以下	0.4	0.7
	800Hz	+3%以下	0.4	0.4
	1600Hz	+3%以下	0.5	0.3
電池の電流	PR48/13 PR44/675	+20%mA以下	1.2	1.1
		時間	215	230
規準周波数	Hz	100 - 6850	100 - 4960	100 - 5860
レスポンス	dB	47	50	54
試験用ループに対する感度	±4dB SPL	-1	1	2
誘導コイル入力の最大感度レベル	HFA-MASL	±6dB SPL	81	98
定常状態出力特性	50dB SPL 90dB SPL	±5dB SPL (70dBで正規化)	102 127	108 123
			113	136
最大感度となる方向		垂直	垂直	垂直

性能表

表示単位

77タイプ（クローズ）

規準周波数レスポンス

88タイプ（ハイパワー）

規準周波数レスポンス

耳かけ型補聴器 簡単ガイド

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 0120-921-310
一般のお客様電話番号 0120-921-102
FAX番号 0120-636-392

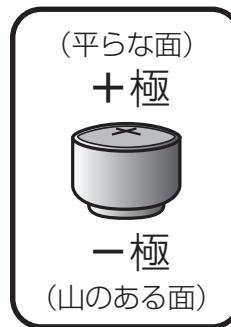
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MM/パークビル8F

KTG0671 02 1807B-180710K

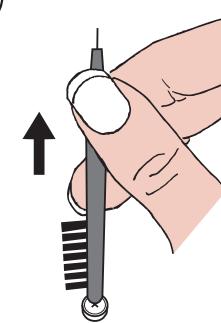
ReSound GN

電池の入れ方・出し方

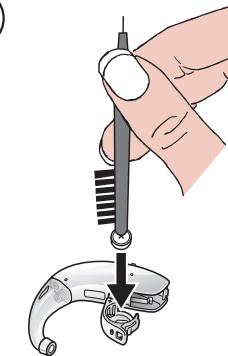
①



②



③



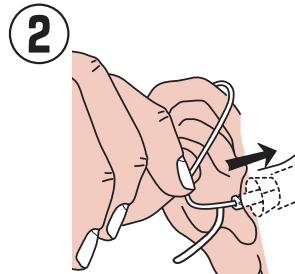
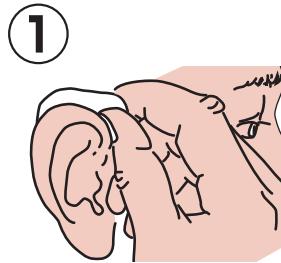
電池のテープをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

耳あか掃除ブラシ先端の磁石に+マークのついている面をつけ、そっと持ち上げてください。

補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

補聴器の着け方・外し方

耳せんの場合



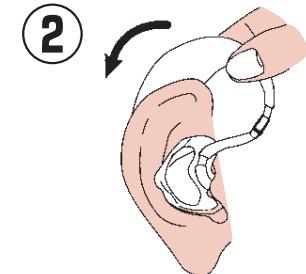
電源を入れ、補聴器を耳の上にかけます。
耳せんを耳の中に、しっかりと入れてください。

ミニチューブご使用の場合



スポーツロックを耳たぶ上側のくぼんだところに這わせてください。

イヤモールドの場合



イヤモールドを指先で軽く持ち、矢印の方向へ回しながら、ゆっくりと耳の中へ押し込んでいきます。

補聴器を耳の後ろに乗せます。

外し方 親指と人差し指でチューブをつまみ、真横に引き出してください。

外し方 補聴器を着ける時とは反対の方向に回しながら引き出し、補聴器とイヤモールドをつないでいるチューブをつまみ、静かに耳から外してください。

日ごろのお手入れ

①毎日のお手入れ

ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。耳せん・イヤモールドの掃除は、耳あかが補聴器本体に入りこまないように音の出口を下にして行ってください。

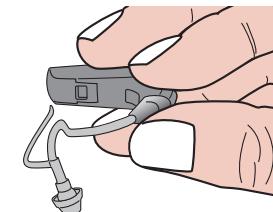


②耳せんの交換

耳せんは3ヶ月に1度程度は交換が必要です。耳せんはお買い上げの販売店で交換されることをお勧めいたします。

③チューブと耳せんまたはイヤモールドの掃除

耳あか掃除ブラシややわらかい布を使って、汚れや耳あかを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

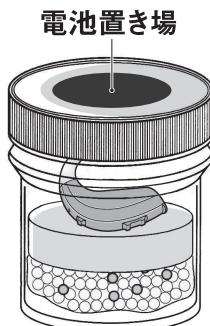


※ チューブ内に水滴が残る危険があるため、洗わないでください。水滴が残ってしまうと音声の伝わりが妨げられたり、補聴器の電子部品に悪影響を与える可能性があります。

※ 絶対にご自分でイヤモールドの形を変えないでください。

補聴器の保管について

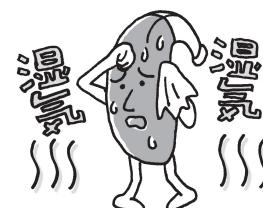
補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。※電池を乾燥ケース内に入れると、電池寿命が極端に短くなる可能性があります。



●熱を避ける



●湿気を避ける



注意・禁止事項

注意

- (1) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
- (2) 亂暴な扱い方は補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けください。
- (3) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。